



顕著になるアメリカの分断

北陸銀行 国際部
ニューヨーク駐在員事務所
内間 洋子

アメリカでは、春は重要な宗教的祝日が続く時期です。

キリスト教では1世紀初めに処刑されたキリストが3日後に復活したことを祝うイースターが、またユダヤ教では紀元前1230年にイスラエル人がエジプト人による隷属から解放されエジプトから脱出したことを祝うパスオーバーと呼ばれる祝日があり、週末にはアメリカ全土から家族や親戚が集い、楽しく過ごすのが習わしです。



しかし、移民政策、USAID（アメリカ合衆国国際開発庁：他国への人道的援助を行う政府機関）、教育省、IRS（国税庁）の廃止案など、トランプ大統領の過激な論調が報道されるにつれ、家庭内や様々な集いの場で攻撃的な政治論が交わされようになっています。突如浮き彫りにされたアメリカ国内における価値観の相違は、家族、親戚、近所、職場などで陰悪なムードを招き、離婚や人間関係の断絶にまで発展しています。休暇や旅行で都会から地方に移動する際にも、気軽に政治の話が出来なくなっています。

アメリカの価値観の分断の歴史は、南北戦争（1861年～1865年）にまで遡ります。

かつて、平坦な土地が広がり温暖なアメリカ南部では、大規模プランテーション農業が行われ、黒人奴隷を無賃金で働かせる白人の農園主や商人たちは北部よりも豊かな生活を送っていました。

一方、石炭や鉄鉱石等の天然資源に恵まれた北部では、産業革命以降、工業が急速に発展しました。労働力は奴隷ではなく、主にドイツ、アイルランド、イギリス等、ヨーロッパからの移民で、賃金労働者でした。

そんな中、北部出身のリンカーンが大統領に就任し、奴隷制への反対と保護貿易の立場を表明したことで、奴隷制と自由貿易を維持したい南部の11州と、リンカーン大統領の政策を支持する北部23州の間で対立が起こり、南北戦争が勃発しました。この戦争では、軍用通信、地雷、鉄条網、機関銃等、当時の最新兵器が用いられ、多くの人が犠牲となりました。5年に渡る激闘の末、圧倒的な工業力を備え物量に勝る北部が勝利し、戦争は終結しました。

その後、北部は発展を続けますが、南部は世界恐慌による綿花の価格下落、バブル経済の崩壊、リーマンショックなどの影響を受け、復興は140年以上にわたり停滞しました。

リーマンショック前後から、アメリカ政府は南部州への景気対策や新たな産業の育成に力を入れ始めました。フロリダ州のマイアミ、テキサス州のヒューストンとダラス、テネシー州のナッシュビルなどは宇宙開発、テクノロジー、医療、IT、エンターテインメントなどの産業が盛んになり、急速に豊かな大都市へと変貌しました。

一方、同じ南部州でも広大な土地に点在する多くの地方の町は未だ取り残されたままで、大都市との経済格差は拡大しており、北部と南部の各州法で定められた最低賃金は約2倍差となっています。

経済的格差の一因として教育問題があげられます。アメリカでは、教育予算は各地域の財源で賄っているため、産業のない地方の町は財源不足から教育への投資が少なく、高等教育の普及率が遅れています。その結果、新興ビジネスの発展がなく、低賃金、失業、貧困、資金不足の連鎖に陥っています。アメリカは建国当初から連邦制の考え方をとっており、各州が独立し一つの国家に近いほどの権限を持っています。南部州の特に地方の町では今でもその州権主義を支持しており、連邦政府によって教育、福祉政策、最低賃金の引き上げ等に関して指示されることを嫌う傾向があります。実際のところ、財源がないので連邦政府の理想政策を実現できないというストレスが高まっているのも現実です。

そういった人々は、地域の教会を教育や福祉の拠点としているため、宗教的な価値観が日常生活や政治に強く影響を与えています。そのため、自分たちの宗教観に反する妊娠中絶、LGBTQの容認、DEI（企業において、人種、性別、年齢、宗教、障害の有無、個人の育った環境を理解尊重し協力すること）、進化論を教育現場で教える事などを受け入れません。これらの価値観は、トランプ主義を掲げる多くの人々にみられ、その権威主義においては、神の意志や大統領の権力が法の上に位置付けられます。この価値観は、北部の州や南部の大都市に住むリベラルな人々の持つ、建国以来の理念である自由、平等、個人主義、民主主義、法による支配と科学的理論の尊重等とかけ離れています。

昨今、これらの分断はSNSの普及によって益々エスカレートしています。双方のグループが、自分と似た思想を持つ人々とだけ交流し、偽情報や過激な内容が各グループ内で個別に増幅する現象（エコーチェンバー）が起きており、相互理解不足を一層深刻化させています。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
((株)人材情報センター内)
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp